

高 東京矢上高 会 ニュース

百十二人が卒業

三月二日(火) 島根県立矢上高等学校平成二十一年度第六十二回卒業証書授与式が行われ、百十二人の卒業生が三年間の思い出と、それぞれの希望を胸に飛び立つ。飯塚校長先生から一人づつ、卒業証書が手渡され、りっぱに巣立って行きました。卒業式の最後には先生からの「エールの歌」がプレゼントされました。



さつまいもご期待

矢上卒業生会東京支部長

神田恵介(十三期 井原出身)

トト ぼくら、離ればなれになろう

とも、クラス仲間はいつまでも トト

私たちがようど矢上高校を卒業する頃流行った舟木一夫さんの歌です。

先日三月二日、矢上高校第六十二期生の卒業式があり東京支部長として行った

まいりました。原山の中腹にあるいいの村で泊まりましたが、朝は雲海が真下に見られウグイスも鳴いており、やっぱり田舎は素朴でいいなあと感じてきました。です。

矢上高校の校舎は正面を入ったすぐの昔は校庭だったところに建っており、棟続きの左側(諏訪神社寄り)にバスケットコートが二面とれる体育館があり、そこで卒業式が行われました。

今回卒業証書をもらったのは、全部で百十二人、普通科七十八人、産業技術科三十四人でした。卒業生から三年間の思い出として「さつま芋を中心に地域との交流をした。サツマイモ一つでこんなに輪が広がると思わなかった」という体験談があり、在校生からは「困ったときは一人で悩まず、私たちに相談してください」とちよつと気張った送辞もありほほ笑ましい限りでした。

今回の卒業式の進路状況資料をいただきましたが進学九十七人、就職十五人と進学が相変わらず多いようです。就職のうちでは十二人が地元(の会社など)

発行日 平成二十二年三月十五日
 号数 第一号
 発行 矢上高校卒業生会東京支部
 発行人 神田恵介 編集人 三宅良二
 事務局 千葉市若葉区若松町
 九〇二一―一五〇三

に残ってくれるそうので石橋町長が「よかつた」と安堵していました。「東京に来るのはどのくらいか」と飯塚校長先生に聞くとうと0人ということで「関西止まりです」と申し訳なきように話されていました。卒業生が話していたように、今、矢上高校は「さつま芋」で有名なんだそうです。産業技術科の福田先生と学生がさつま芋の温暖化抑制効果の検証に取り組んで実績を上げており、ゼオライト鉱石?を使った焼き芋器まで開発しています。今年の東京の支部総会では是非お披露目したいと、渡辺卒業生会会長にお芋と焼き芋器を持って来ていただくようお願いしてきました。

今年の東京支部総会は五月十六日(日)十二時から、場所は昨年と違い品川五反田の「ゆうぼう」と(山手線五反田駅下車)です。皆さん方の同期や近くの方々をできるだけたくさんお誘いの上ご参加いただきたいと思ひます。交通の便もいのですので是非よろしくお願ひします。「さつま芋」が待っています。ご期待下さい。

初企画イベント「国会見学」

十一月二日(月)と十一月十四日(両日)、千代田区永田町の国会議事堂見学を致しました。――曇が空を覆う、今にも雨が降りそうないくすの天気でしたが、二日は8名、十四日は3名の参加で、矢高会の初企画イベント「国会見学」が行われました。二日は政権交代もあり注目度が上昇したこともあつてか、大勢の見学グループがありました。中村輝

夫さん(4期 高原出身)本田博さん(十期 神田恵介支部長(十三期 井原出身) 榎原副支部長(三十期 矢上出身)は奥様と2人の息子さんの4名で、三宅良二の総勢8名参加頂きました。参議院本会議場等を見学、一通り説明を聞き終わつた後の質問の時間には、当時の最高の技術で建設された国会議事堂。石見地方からも多くの石州左官が建設に携わり、壁等に細工をしたと言われているがどこか?と中村輝夫さんが質問をされましたが、明確な答えはないものの、見上げる天井の灯りの周りには、彫刻ではない、細工が施された花の模様がいっそう灯りを豪華なものにして

いました。続いて近くの憲政記念館を見学し、ピデオライブラリーでは、明治維新から今日に至る政治の移り変わりを見るこゝが出来ました。十四日は、岩岡忠夫(十五期 矢上出身)と神田支部長、三宅良二の3名。当日はアメリカ・オバマ大統領来日の翌日ということもあつてか、国会周辺は比較的に静かでした。見学後は国会構内の前庭遊歩道両側の、全国から集められた県木を散策しました。島根県は枝振りのいい「クロマツ」が植えられていました。

初参加の高橋廣さん第2位

第2回東京矢高会ゴルフコンペ(十月四日川越グリーンクロスⅡ5376ヤ

ード パー71)――晴天に恵まれ青空の下、高橋廣さん(十三期 矢上出身)が中村輝夫さん(第4期 高原出身)と並んで見事2位タイ。優勝は神田恵介さん(十三期 井原出身)。第4位は三宅良二さん(三十五期 矢上出身)。クラブハウスから船で荒川を渡り、九時一分いよいよスタート。「ゴルフの上手な人は、仕事もできる」と著書「月イチゴルフの品格」でも言われている神田さん。見事87で優勝。昨年に続いての参加、中村先輩のホームグラウンド。年齢を感じさせないドライバーと、グリーン周りの小技の冴えもあり、スコアには不満顔ながら96で第2位タイ。

初参加の高橋廣さん。大手企業を退職後、現在は上尾市の酪農家。朝の餌やり・搾乳と夕方の餌やりの間に参加頂きました。ゴルフはベテランの品格。同期の神田さんのお誘いと住まいがこの近所ということもあり今後は常連に。スコアは96の第2位タイ。

「月イチゴルフの品格」を愛読して上達中?の三宅さん。時折いいショットはあるもののスコアは112。打つては歩くのがゴルフですが、走っては打つのゴルフでした。終了後は4人で懇親会。次回は2組以上での開催を願ひ、お開きとなりました。高橋さんは颯爽と酪農家に戻られました。



私が高校時代から

身に付けたもの

楠利文(五期 日和出身)

私が矢上高校に入ってから既に六〇年日和出身だったので、いまでいうカルチャ―シヨクを大いに受けた。まして身長は一五〇に足りなかつたことでもあつたし。原稿の依頼を受けて、身に付いたものが何かあつたであろうかと、暫し考えに沈んだ。三つを拾り出した。

一つは「読書」である。校舎の二階角の図書室だつたように記憶している。そこで、P・バックの「大地」(一九三二ピュリツツアー賞を勧められてか、自発的に読み出したのかも漠然としているものの、一年の時に手にしたのは事実のように思う。本には飢餓状態にあつたので、爾来、教養書や学術書などは何のその小説一辺倒で、今でも、コナン・ドイル、ディック・フランシス、池波正太郎等々に目が向き読んでもいる。

二つ目は「酔い心地」である。二年になつてからだと思つが、誰かの下宿で一杯やろうということになつて、焼酎を買つてきて飲んだのだが、その心地は得も言えないもので、二年で二回、三年で三回程度だつたが、卒業後の行動を全く制約するものではなかつた。

開高健の一文に「人は一生に飲む酒の

入る袋を持つて生まれ、一杯になると死ぬ」と。私にはもう余り生きる余地がないようだ。

「友」は一番に挙げるべきものであろう。高校で友を得ることの大切さを身に付け、以後成人し、老齢に至つた現在でも友は多い。

警視庁で二三転勤した。顔見知りでは友とは言えない。退職後も二社に勤め、高卒後五〇年経つた六八歳で、毎日会社に出勤するのももういいかと思ひ、辞意を表明した時には、一部上場企業の常勤監査役をしていた(監査役としてはあまり役立たなかつたようだが)辞めるについては、何人かの友人には相談したが、女房には一言も言わなかつた。いまでもある店の週一の顧問をしている。

おしまいの夢。甲子園で高歌を聞いた。

ふるさと

浦田庸子(六期 矢上出身)

「お元気ですか」と言う電話に、「まあ何とか生きています。」と言う返事が、私の日常語に成つてしまいました。

「ふるさととは遠きにありて思うもの」との言葉の通り故郷を離れ、当地に住んではや半世紀の歳月が、過ぎてしまいました。「月日は百代の過客にして行きかう人もまた旅人なり」

私の父は、東京八王子の出身。母は矢上生まれ矢上育ちです。なにしろ父が初めて矢上の地を訪れた時「こゝも日本か」と言つて、皆を驚かしたと今でも語り草となつてい

ます。美しい断魚溪を越えて広がる盆地、現在の変わりゆく様を、父に見せてやりたいと思つ程で、その変貌の凄まじさは唯々驚くばかりです。美しい四季の移ろい、自然の美しさを眼裏にした私には、戸惑いを感じさせられます。

私は二十数年俳句の世界に足を踏み入れました。ふる里の義姉達は尊敬する俳人達です。

産土(うぶすな)の雨は大粒の子汁 庸子
母は、石見地区の伝統ある「三射山句会の会員でした。私は残念乍ら、母の句に殆ど触れる事もなく、教えを乞う事も、ありませんでした。母の亡き後、水

原秋桜子の句系「新樹」と言う結社に縁あつて入会し、現在に至つております。「鉛筆と紙さえ有れば、病氣の時、どんな時でも、心の慰めになる」と勧められた母でした。



生煎愛知県の船戸平という所に、桜見物に母と出かけた時、雄大な長良川をながめて、

木曾三川めぐりて花の船戸平 きみよ
と言う句を詠みました。私の前での母の初めての句であり、又最後の句でもあり、私の忘れられない句となりました。

産土の雨の句へる今年米 庸子
山深い山陰の美しい地と古都鎌倉が交錯し、これからも、私の人生の中で生き続ける、事と思ひます。



タテ割り評価とヨコ割り評価

八田一利(十五期 矢上出身)

人を評価するほど難しいことはない。大抵の場合二・三のタテ割り試験科目だけで判断することが多いが、それは大きな危険を含んでいる。たしかに今の社会は、タテ割りの軸で切った上位の人たちが、指導的役割を占めている。だが、実際に世の中を動かしているのは、各軸ごとの中位でも、バランスのとれた名もなき人たちなのである。

木の専門家である小原一郎氏は、ある書物の中で木の評価と人の評価は似ているところがある、と述べている。大雑把には次のような内容である。

木はどんな用途にもそのまま使える優れた材料であるが、その優秀性を数量的に把握することは困難だ。なぜなら、強さとか、保温性とか、遮音性とかいった、どの物理的特性をとりあげてみても、木はほかの材料に比べて、最下位ではないにしても、最上位にはならない。どれをとっても、中位の成績である。だから優位性を証明しにくい、というわけである。

だがそれは抽出した項目について、一番上位のものを最優秀だとみなす、項目別のタテ割り評価法によったからである。いま見方を変えて、ヨコ割りの総合的な評価法をとれば木はどの項目でも上下に隔たりのない優れた材料の一つになる。人もまさに同じだ、というのである。天は二物を与えない。頭のいい人は確かに大それたが、バランスのとれた人もまた、社会構成上欠くことのできない要素である。だが今までの評価法では、そういう人たちのよさは

浮かんでこない。タテ割りだけで評価することにはむりがあるのだろう。

近年、入学試験や入社試験は多様化傾向にあるが、依然としてタテ割り評価の要素が強い。木と同じく生物系材料の代表である木綿と絹のように、「ふうあい」まで含めた総合性の判断、いわゆるヨコ割りの評価法が強く求められるところである。

石見町を離れて三十年

森脇 誠(三十一期 矢上出身)

石見町の地を離れ、はや三十年が過ぎた。石見町の名は地図から消えたけれど、私の心には、十八歳まで生まれ育った邑智郡石見町矢上として今も心に残っている。実家は稲作中心の農家で、想い出といえば家の手伝いを良くした(正確に言えばさせられた)ことだ。三月の初撒きの準備から始まり、四月の代掻き、

せているときに小まめに土を耕すのか解らうともせず、機械を操るのが面白いから手伝ったというのが本意だった。その他思い出といえ、大雪の中、学校へ行くために朝一番雪かきをしてから普段の二倍三倍の時間をかけて通ったことだ。それらがあたりまえのことと思っていた。

今、私は東京で事務職をしている。往復四時間の通勤電車、パソコンと格闘している毎日だ。人の命の大切さを実感できる仕事に従事させて頂いていることは嬉しいし、誇りが持てる仕事だと思っている。職場の仲間と仕事をしていてふと思っ

五月の田植え、何回かの農業散布、九月の稲刈りと稲干、十月の脱穀とおすひき。そしてやっと出荷を迎える。

また稲作以外では野菜作りのために耕耘機やトラクターで畑を耕した。そのときはなぜ畑を作るのか、なぜ畑を休

自分がだんだんと弱くなっていると感ずるこの頃、これからも故郷での経験が今の自分の基礎になっていることを大切に、くしけない強い意志をもって何事も前向きに生きていきたいと思っている。

今後、ますます矢高会東京支部が発展していくことを祈念しております。



高効率微粒交換で温度22.5℃達成
 ビタミンCの保有で美容効果
 食物繊維豊富で整腸作用
 しっとり感とホクホク感の調和
 ほどよい温もりで心の癒し効果

石見の民謡

昨年十一月一日、邑南町の合併五周年事業で帰郷し、瑞穂の元気館で民謡を披露させて頂きました。せつかくの機会ですので、ふる里にも民謡がないかと思ひ、十数年前、島根県教育委員会にお願ひしてダビングして頂いた「民謡緊急調査」の資料を調べ、瑞穂の出羽周辺で唄われていた「木挽唄」を私なりにまとめ、今回初めて唄わせて頂きました。

「木挽唄」

ヤーレ木挽さん達や

米の飯ゆう喰らうて

松のもと木にや泣いたげな

ヤーレ木挽さん達や

二間木の上で

トビやカラスの真似よなきる

ヤーレ三時ゆう仕舞の

アラカの鰻

挽けば山寺鐘の音

「木挽唄」はその名の通り、木挽職人がその作業中に唄った唄。全国には数多くの木挽唄がありますが、大きく分けて岩手県の南部木挽唄系と広島木挽唄系に分けられるようです。それは「腕に覚えのある」木挽きが渡り木挽きとして、出稼ぎをし、その地方地方に唄を伝えたのが今日、伝承され唄われています。

今回のこの唄は広島木挽唄系の唄です。これを機会に、ふる里の民謡の発掘にも取り組みたいですと思っています。

三宅良二(三十五期)

平成二十二年年度年会費

のお願い

本支部の経費は、皆様方からの会費・寄付金で運営されております。どうぞご協力くださいますようお願い致します。

昨年より一口千円として何口でもお納め頂くことができるようになりました。各行事の時にも申し受けますが、郵便局の払込用紙をご利用頂きますようお願い致します。

会費二口千円 何口でも

口座番号〇〇一四〇〇〇七二七七
口座名 矢上高校卒業生会 東京支部

平成二十二年会費納入ご芳名

- 十口一万円 神田恵介(十三期)
- 五口五千元 宇津本由紀子(八期) 中村輝夫(四期) 八田一利(十五期) 宮岡裕子(十期) 原野未来将(五十三期)
- 三口三千元 大羽登(六期) 渡辺誠(十八期) 後藤勝子(六期) 野田明弘(十四期) 隅川和子(六期) 服部豊(十五期) 酒井富雄(二十二期) 稲田 隼

- (八期) 高橋廣(十三期) 石川義之(五期) 三次学(二十九期) 三宅良二(三十五期)
- 二口二千円 太田耕造(十八期) 佐々木チズ子(六期) 竹内一昭(三期) 山田裕三(三十九期) 本田博(十期) 一谷邦男(九期) 荒瀬恵子(三十五期) 斎藤均(十九期) 雨谷寿子(十三期) 楠利文(五期)
- 一口千円 上田昭臣(十七期) 伊東篤(十五期) 藤橋百合恵(二十二期) 沖美知江(十八期) 沖征広(十四期) 宮田勝(十四期) 森岡武(十四期) 梶富子(七期) 椿美津枝(十三期) 岡本博仁(十五期) 洲浜豊和(十二期) 日野勇夫(七期) 日野山勉(十期) 渡利勇(四期) 日高文三(二期) 日野原紀世子(十三期) 日野原育生(八期)

- 花本保博(十期) 中村延枝(六期) 倉持桂子(十四期) 森脇好恵(十六期) 佐藤直子(二十六期) 狩野恵(十三期) 滝厚江(八期) 竹内常年(十八期) 枝久保美千恵(十期) 三宅雅寛(二十三期) 服部真二(十七期) 岩岡忠夫(十五

- 期) 小尾保子(六期) 山本信子(十三期) 久長瑞枝(五期) 門屋邦子(十二期) 坂根節男(十三期) 柳瀬百合子(八期) 神田信子(二十三期) 三宅伸二(二十九期) 八田志津江(二十一期) 島村不二子(十九期) 野坂正(五期) 平井美千枝(十七期) 山崎照夫(十四期) 江藤洋子(十三期) 福岡幸雄(十三期) 前田喜信(八期) 日高祐子(六期) (尚、ご芳名はお振込頂いた順番になっています。)



2010/03/03

第三十五回総会

開催のご案内

最大のイベント、「支部総会」。本年度は五月十六日に品川区西五反田の「ゆうぽうと」で開催することとなりました。本年度より会場が変わりましたので、お間違えのないよう宜しくお願いします。

はるばる品川駅からは、町議会議長の辰田直久氏(三十期 中野)、卒業生会会長の渡辺生紀(四期 井原会長、そして飯塚校長先生に)ご出席頂く予定です。何かとお忙しいかと存じますが、万障お繰り合わせの上お出かけ下さいませよう。案内申し上げます。

日時 五月十六日 正午

場所 五反田「ゆうぽうと」

6階 「真浦」

品川区西五反田八-四-十三

電話〇三三二四九四一六四七三

会費 男性 八、〇〇〇円

女性 六、〇〇〇円

(当日会場にて申し受けます)

(準備の都合上、五月五日までに同封の返信用にて、出欠をご連絡下さいませよう宜しくお願いします。)

矢上の方言

はあ、忘れとりんさろう。矢上弁を思い出しちゃんさいよ。近ごろ、子どまあ、細まあとですぐ「はぶてる」「くじゅうくりや」はぶてる。どがあすりやええん。辛抱が足りんのお。百姓の「てこ」もさせられんし。

政治も経済も、何にゆう見ても、ろくなことたないし、ええことも「じょう」にやあ無かるうが、続けとりや、その内ええところがあるうで。

なんぼか、暖かこうなつて、雪ぎや降りやすまいが、まだまだ寒いけえ、かじよう(風邪を)ひかんように頑張つちやんさいよ。

プレゼントコーナー

「ろくなことがない」「ちゆうて、言うが、矢上弁にや」「ろくなところ」「ちゆう言葉があるのを、覚えとりんさるかいかのお?」この「ろくなところ」たあ、どがあなところか答えちやんさい。

正解を書いちゃんさつた中から抽選で十名の人に「ええもの」をあげよう思おとるけえ、期待しちやんさい。総会の時に抽選しよお思おとります。なるたけ着ちやんさりやええんだが、どがあしても用事で来られんいう人になあ、送つたげよお思おとります。だけえ、必ずハガキで返事ゆうしちやんさいよ。待つとるけえ。

編集後記

月日の経つのは早いもので今年も三月、いかがお過ごしでしょうか。昨年末に原稿をお願いしましたところ、快く引き受けて頂き本当に有難うございました。掲載の写真は神田恵介支部長、本田博(十期)先輩にお送り頂いたものです。有難うございました。この場をお借りして御礼申し上げます。

頂いた原稿は、その「思い」や「考え」がそのまま伝えられるよう、手を加えず一言一句お送り頂きました原稿をそのまま掲載することを原則としています。

原稿のお願いは、総会の参加・不参加に関係なくさせて頂きました。これを機会に参加頂ければ、と思っております。

次回は9月の予定です。皆様からの原稿をお待ちしております。テーマは何でも。また個別にお願いさせて頂きますが、その節にはご協力の程、どうぞ宜しくお願いいたします。

十分注意しておりますが誤字脱字や、見ずらいところもあろうかと思ひます。どうぞお許し下さい。お気づきの点がありましたら何なりと申し付け下さい。寒かった冬が終わり、ようやく暖かくなってきましたが、季節の変わり目、どうぞご自愛下さい。

三宅 良一(三十五期 矢上出身)



ゆうぽうと

〒141-0031 東京都品川区西五反田8-4-13

【交通のご案内】

- JR・都営地下鉄五反田駅から徒歩約5分
- JR大崎駅北改札口西口から徒歩約7分
- 東急池上線大崎広小路駅から徒歩約1分